

第9回「あび北フォーラム」会議議事録

開催日： 令和2年9月27日（日） 14時00分～17時00分

開催場所：あびこ市民プラザ ホール

参加者： 自治会関係者：47名

我孫子市役所：6名

地域会議事務局：13名

総計：66名

1. 「司会」が開会を宣言
2. 事務局長開会の挨拶

* 2017年5月に第1回地域会議を開催。年3回の頻度で開催する事とした。会の名称は我孫子北地域の地域会議で有り、意見交換の場ということから「あび北フォーラム」と親しみやすい名称にしている。

* 会議を推進する母体としての事務局を北まちづくり協議会が中心となり、地域で活動されている我孫子北地区社会福祉協議会、民生・児童委員、高齢者何でも相談室、地域で活躍されている連合会の方には個人の資格で声掛けして参加して貰って立ち上がった。更には我孫子市役所と緊密に連携・協力しながらフォーラムの運営に努めている。今回は37の自治会の会長、防災責任者の方々に声掛けして、30自治会の方々に参加して貰っている。

* 「あび北フォーラム」を立ち上げる時に構成メンバーにアンケートをとり、共通テーマとして「防災」を選択し開始した。このテーマを検討している中で、地域特有の高齢者問題・要支援者問題等にも関わるので適当なテーマだと判断した。当初は防災でも「地震対策」を主題として意見交換・実地訓練等を重ねて8回経過。ところが昨年10月の台風19号で洪水・台風被害が喫緊の問題としてテーマアップする必要性を事務局で判断し第9回は「風水害に備えて」というテーマにすることで、本来今年3月に実施することとなっていた。

これがコロナの為に半年延期され本日になった。

* 2017年9月に市民安全課より、「防災講座、地震」に関して講演をしてもらったが、今回は「風水害に備えて」ということで行政としてどの様に風水害に対応しているか講演して貰う予定。二回目の講演だがしっかり学習して頂き、それを

各自治会に持ち帰り、情報を共有して今後の防災・減災に役立てて貰いたい。

3. 我孫子市役所市民生活部長 挨拶

防災の問題からスタートされたが、その後も新たな問題として「高齢者孤独死」「児童の虐待」問題が発生してきている。これらの問題をもコミュニティ力を活かして、取り組んで頂きたいと考えている。

「安全」「安心」「快適」で、明るく快適な社会を目指して、「あび北フォーラム」が貢献されることを望んでいる。我孫子市も皆様方と力を合わせ努力していきたいと考える。これから一層のご活躍を期待しております。

4. 講演

我孫子市役所市民生活部市民安全課より、「我孫子北部地区住民の避難について」の資料により、講演が行われた。

講演の中で、「安全な避難行動」には、

- ①指定緊急避難場所や指定避難所への一時移動
- ②親戚、知り合いの家等への移動
- ③近隣の高い建物等への移動
- ④自宅内の安全な場所（2階など）への移動

などがあり、指定緊急避難場所や指定避難所に行くだけが「避難」ではなく、普段から各人が「安全な避難行動」についての対応策を考えて貰いたいとの話があった。

そして、「避難所の利用」には、地震や台風の後には、自宅が倒壊・損壊してしまった方の長期的な避難と、台風や河川の洪水などに備える事前の短期的な立ち退き避難の2つがあるとの説明、「避難命令の種類」には、警戒レベル3で出される「避難準備・高齢者等避難開始」と警戒レベル4で出される「避難勧告」「避難指示（緊急）」があるとの説明があった。

講演の最後に、今年改訂版を出した「ハザードマップ」には「タイムライン」を記載してあるので、皆さん自身で台風・大雨時の警戒レベルに沿った自分にとっての避難行動計画を立てて貰いたいとの話があった。

さらに、あび北フォーラム事務局から事前に提出していた想定質問への回答が追加資料により行われた。

5. 続いて、市民安全課の講演に関して、以下の質疑応答があった。

(グランレジデンス居住者会)

- ① 避難命令は、行政無線、市メール配信があるがどのタイミングで行われるのか？

(回答) 時間差は多少あるが、テレビ(千葉テレビ等) J-COM、市役所ホームページ、市からの配信メールなどがある。配信メールへの登録は約1万人(人口13万人中)である。

(つくし野北自治会)

- ② 「ハザードマップ」では利根川増水時の避難判断水位は取手観測所の6.9mに見えるが、上流の栗橋観測所の水位が避難判断水位になった場合も我孫子住民には警報を出すべきではないか？取手の水位を見るのでは遅いのではないか？

(回答) ハザードマップには取手観測所での避難判断水位を掲載しているが、上流の栗橋観測所の水位や雨量等状況に応じて判断することになっている。市民の方には、取手の水位の方が分かりやすいのでは。

(つくし野西 自主防災委員長)

- ③ 今年の台風19号で避難命令が出たが、避難所の収容能力は？

(回答) 避難所の収容人数の目安は、あび北フォーラム事務局から事前に提出された想定質問への回答に記載のとおりです。

- ここで質疑応答は一旦打ち切り会議を続行することとした。

6. 事務局からの説明：

「風水害に備えて」と題して、①風水害に関するアンケート結果の報告、②我孫子北の水害リスク、③水害の危険にどう対処する、についての説明を行った。

「我孫子北の洪水リスク」については、利根川調整池の機能と効果、および我孫子北の水害想定について、説明した。「今年の台風19号時の栗橋観測所、芽吹橋観測所、取手観測所の時間経過毎の氾濫警戒水位等をスライドで解説し、菅生調整池、田中調節池、稲戸井調節池の効果をも説明した。最後に、危険への対処方法として、マイタイムラインの紹介を行った。

7. 事務局からの説明：

「町内会・自治会の役割と活動」について報告を行った。

「自助・共助・公助の役割」について報告を行った。

「特に、自助だけでは困難な避難行動での共助の重要性について具体的な項目を解説した。」

8. 質疑応答

(つくし野南自治会)

①昨年の台風 19 号時、AM3 時に警報が発令し、解除されたのが PM7 時であった。その 16 時間の間の Fact (事実) の状況が分からない。

(回答) 国の基準に従って行った。実際に解除まで 19 時間かかった。

(並木 8 丁目自治会)

②自治会から「電研」が一番近い。優先順位を上げて貰えないか？

(回答) 私も電研には要請したいが民間施設なので強制は出来ない。今後とも今後とも住民の方々と一緒に電研に要請していきたい。

注) 本質問は、フォーラム終了後確認により、質問者は、緊急避難場所としての「電研」の開設について、質問していた。しかし、回答者は、質問が避難所としての開設順位と受け取り、回答をしていたことが判明しています。従って、質問と回答にズレがあります。本件は、別途、並木連合会で市と話し合いを行っています。

※指定緊急避難場所：災害が発生し、又は発生するおそれがある場合にその危険から逃れるための避難場所。

指定避難所：災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設。食料、寝具が支給される。

(つくし野西自治会)

③メール配信、防災無線など何回もやって欲しい。又車中泊について市の見解を教えて欲しい。

(回答) 4 万人分の車中泊を考えて見よとの上司から指示があるが、柏市と違って大規模スーパーなど施設が我孫子にないのが実情である。

(つくし野西自治会)

④は警戒情報を出すまでの、対応はどうなっているのか？

(回答) 警報を出す半日前から、避難所の開設準備は行っている。住民の方々は、市メール、テレビ、Jcomなどで状況を確認して貰いたい。市役所には10人の電話対応要員を配置しているので、電話確認でも良い。

9. 締め

司会より次回の第10回フォーラムは令和3年1月頃を予定しているとの締めの挨拶があった。